

| 項目       | 内容  |
|----------|---|
| 名称       | ハッシュウマメ、ビロウドマメ、ムクナ [英]Cowhage、Velvet bean、Atmagupta、Cowitch、Dolichos pruriens [学名]Mucuna pruriens (L.) DC. Var. utilis (Wight) Burck  |
| 概要       | ハッシュウマメはマメ科に属する蔓性の一年草。名前の由来は、一説には、1本から8升もの豆が収穫できるからといわれている。   |
| 法規・制度    | <b>■食薬区分</b><br>・ハッシュウマメ (ビロウドマメ) 全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。   |
| 成分の特性・品質 |   |
| 主な成分・性質  | ・ハッシュウマメはレボドパ (levodopa)、prurieninin、ミネラル (カルシウム、マグネシウム、リン、鉄、マンガン、亜鉛、銅など) を含む ( <a href="#">PMID:2125657</a> )。<br>・ハッシュウマメ種子は、レボドパ、5-MeO-DMT、N,N-DMT、ブフォテニンなどを含む ( <a href="#">PMID:1978001</a> )。 |
| 分析法      | ・ハッシュウマメ種子中のレボドパをHPTLC (高性能薄層クロマトグラフィー) にて分析した報告がある ( <a href="#">PMID:18310948</a> )。  |

## 有効性

|          |              |                 |
|----------|--------------|-----------------|
| ヒ        | 循環器・         | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| ト        | 呼吸器          |                 |
| での<br>評価 | 消化系・肝臓       | 調べた文献の中に見当たらない。 |
|          | 糖尿病・<br>内分泌  | 調べた文献の中に見当たらない。 |
|          | 生殖・泌尿器       | 調べた文献の中に見当たらない。 |
|          | 脳・神経・<br>感覚器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
|          | 免疫・がん・<br>炎症 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
|          | 骨・筋肉         | 調べた文献の中に見当たらない。 |
|          | 発育・成長        | 調べた文献の中に見当たらない。 |
|          | 肥満           | 調べた文献の中に見当たらない。 |
|          | その他          | 調べた文献の中に見当たらない。 |

---

参考文献

- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)  
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)  
[\(PMID:1978001\) Lancet. 1990 Nov 3;336\(8723\):1129.](#)  
[\(PMID:18310948\) Chem Pharm Bull \(Tokyo\). 2008 Mar;56\(3\):357-9.](#)
- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
[\(PMID:2125657\) J Pak Med Assoc. 1990 Jul;40\(7\):147-50.](#)
-